

授業科目名	リーダーシップ論	担当教員	山中 俊之
必修の区分	選択		
単位数	2 単位		
授業の方法	講義		
開講年次	2 年 第 1 クォーター		
講義内容	グループ討論やロールプレイを通じて、リーダーシップに関する実践的な能力を身に付けてもらうことを目標とする。リーダーシップは、どんな職業においても、地域社会においても、肩書等に関係なく必要な能力であり、また後天的に身に付けることができる。学生時代に必要なリーダーシップ及び社会人になってから特に重要なリーダーシップのそれぞれにおいてスキルや行動を習得してもらう。題材としては、古今東西の経営者や政治家を取り上げる他、教員が実際に体験した事例、一緒に仕事をした人の事例等も取り上げる。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none">・リーダーシップをとるための必要な行動要素を知り、それを基に自分の強みや弱みについて分析することができる。・自らのビジョンを明確に立案できる。・他者を動かすための方法論を理解して、状況に応じて、実践できる。・リーダーとして重要なファシリテーションについて理解して実践できる。・リーダーとして重要なプレゼンテーションについて理解して実践できる。・卓越したリーダーの実例について知識を蓄積して、自らが必要な時にそれら知識を思い出して活用できる。		
授業計画	第 1 回：リーダーシップとは何か、なぜ重要なのかー世界ではリーダーシップは基礎的素養 第 2 回：ゲストスピーカー講演 第 3 回：ファシリテーションのスキル 第 4 回：フィードバックのスキル 第 5 回：リーダーに必要な判断の軸ー稲盛和夫氏から学ぶ 第 6 回：他者を動かすために必要なパワー理論とはなにか、いかにしてパワー理論を使って他者を動かすのか 第 7 回：リーダーに必要な質問のスキルー質問力で問題解決と人材育成の両方を実現する 第 8 回：リーダーとして必要な人材育成能力ーコーチング 第 9 回：リーダーとしての抱負とフィードバックーリーダーズインデグレーション 第 10 回：ゲストスピーカーご講演		

	第 1 1 回：改めて、自らのリーダースタイルを考える 第 1 2 回：全体振り返り＋レポート作成提出 ※上記は変更の可能性があります。
事前・事後 学習	毎回 1 週間のリーダーシップ行動について振り返りをしてもらいます。
テキスト	特にありません。
参考文献	特にありません。
成績評価 の 基 準	レポート（50%）、授業中の発言及び積極性（50%）
履修上の注意 履修要件	特にありません。
実践的教育	演習やゲームなどを多く入れていきます。
備考欄	定員 50 人を超える場合は選考とします。選考は初回と第 2 回の積極的参加とリクレーションシートの内容と教務的な配慮（過去に展開科目落選が多い場合はその点を考慮して受講しやすくするなど）です。